

芭蕉元祿事業 奥の細道むすびの地「大垣」十六万市民俳句ポスト

平成二十六年十一月度 入選句（投稿総数二千八百四十八句・一般投句数六百九十八句）

特選

嬰兒につられて笑ふ良夜かな 不破郡垂井町 北村 廣美

良夜。月の美しい夜のごとで特に陰曆八月十五日と九月十三日のことを指す。この季語に嬰兒の笑顔を取り合せた。無垢な表情に触れると何んとも言えない幸せな心もちになる。月を賞し、嬰を愛でる。まさに良き夜である。

校庭に五時のチャイムや雪ばんば 岐阜市 石崎 宗敏

雪婆。体長二ミリほどのワタアブラムシ科の昆虫。綿虫・大綿・雪虫などと呼ばれている。この語を聞く、とても懐かしい。子供の頃よく手に受けて遊んだものだ。帰宅を促すチャイムが聞こえてくる。雪がもうじき降ってくる。余情ある句。

無病とはいかぬが達者とりろ飯 大垣市 大西 誠一

とりろ飯。とりろ芋を搗り出し汁で薄めたものを、温かい飯にかけて食べる。何杯もお代りしたくなる。年を取るとどこかは悪くなる。しかし、それを受け入れねばしかなかった。とりろ飯で滋養を摂り、無病息災ならぬ一病息災で暮らしたいものだ。

秀逸

はせを像以外と美男初もみぢ	石川県白山市	瀬川 惠
萩こぼる絵巻まくごとゆるき風	三重県津市	野田 三枝子
朝日子のなかの宿坊つくつくし	愛知県名古屋市	舘野 茂子
少年は返事ひと言林檎かむ	大垣市	下村 常子
神無月頼みたいこと出来たのに	大垣市	永島 みすゑ
小春日や赤子をあやす京ことば	福井県福井市	三ツ山 ひろし
秋風もさおで操つるたらい舟	大垣市	小高 光一
石像の笑ひ続けて赤とんぼ	大垣市	鈴木 美江子
ふくべ棚彫り師に似たる木偶の顔	香川県さぬき市	丸亀 慎太郎
紅葉茶屋日の当たる席より埋まる	不破郡垂井町	高木 巧

入選

遠き日の夢をいまなほ星月夜
栗の貌竹馬の友に似るもあり
星月夜メトロノームの針の揺れ
旧道に鍛冶屋酒蔵冬ざるる
菊日和箏筥の底に鯨尺
豊の秋天地無用の荷の届く
大供の群れは仮装のハロウィン
行く秋やかゆひとさじの母の口
今朝の冬家にひとつの鳩時計
遠落暉小さく揺るる月見草

大垣市 林 芳江
不破郡垂井町 西田 厚堂
大垣市 松岡 千代
大垣市 森川 きよ子
安八郡神戸町 高橋 泰
大垣市 大西 誠一
大垣市 藤井 正勝
大垣市 平野 ヒサエ
安八郡輪之内町 野村 照子
北海道小樽市 大橋 美彌

入選

鉄鍋にたぎる里芋飴色に
昼ちちろ跳ぶ木因の句碑の裏
閑室の秋水に渦生まれけり
鶯に囀られて乗る盪舟
角砂糖ゆつくり溶ける夜長かな
水郷や十万石の豊の秋
小流を縁どってをりこぼれ萩
新蕎麦や靴を揃えて脱ぐ少女
しばらくは風の声聞くうろこ雲
山盛りに父母に供へし今年米

不破郡垂井町 内海 白涛
愛知県岡崎市 三浦 葵水
愛知県尾張旭市 古賀 勇理央
愛知県西尾市 乙部 妙子
大垣市 大西 誠一
大垣市 澤井 国造
安八郡神戸町 後藤 和朗
東京都世田谷区 関戸 信治
静岡県静岡市 内藤 知
愛知県岡崎市 鈴木 正紘

選者吟

こき古希と関節の鳴る夜長かな

武直